

林業・木材産業改善資金活用事例

林業・木材産業改善資金を活用した林業機械や施設等の整備事例をご紹介します。

林業・木材産業改善資金制度は、

- ◆経営の改善のために機械・施設を導入したい！
- ◆林産物の新たな生産・販売方法を取り入れたい！
- ◆林業従事者の確保のために働く環境を整えたい！

など、事業者のみなさんの創意工夫を活かした様々な取組みに必要な資金を無利子で借り受けることができる制度です。

- 事例1 フォワーダ
- 事例2 薪割機
- 事例3 ホイールローダ
- 事例4 人員輸送車
- 事例5 チップストックヤード
- 事例6 特用林産生産施設



林業・木材産業改善資金活用事例 1

フォワーダ

■活用の経緯

国有林での素材生産事業で高性能機械による高能率・低コスト作業システムが推奨され、それに対応した作業体系に移行する必要が生じていました。補助事業での導入を検討しましたが、既存の補助事業では採択要件に適合しなかったため、無利子で融資を受けられる改善資金を活用することにしました。

■改善資金活用の効果等

フォワーダの導入によって作業効率が格段に向上し、作業員の負担も軽減されました。



林業・木材産業改善資金活用事例 2

薪割り機

■活用の経緯

従来から、近隣の住民向けに、薪を生産販売していましたが、最近になって大口の需要が増え、生産が追いつかないことからやむなく断ることも多くなっていました。薪の需要は今後も増えることが予想されるので、高能力の薪割り機を導入することにしました。

■改善資金活用の効果等

大口需要にも対応が可能になり、収益の増加及び作業員の負担軽減にもなり、経営と労働環境の改善につながりました。



林業・木材産業改善資金活用事例 3

ホイールローダ

■活用の経緯

既存車両の老朽化と、原木取扱い量の増加に対応するため、既存のものよりも性能の高い機種を導入する必要にせまられていました。ホイールローダ単体では補助事業の採択条件に適合しなかったため、無利子の改善資金を活用することにしました。

■改善資金活用の効果等

操作性、処理能力のアップで、作業効率が向上しました。整備費用も軽減され経営の改善につながりました。



林業・木材産業改善資金活用事例 4

人員輸送車

■活用の経緯

既存の車両が老朽化し、毎年の整備費用等の負担も大きくなってきたため、更新を考えていました。当初、組合の積立金で購入する予定でしたが、改善資金を使ったほうが、固定資産税の軽減になることから活用することにしました。

■改善資金活用の効果等

改善資金を利用して、森林組合等が共同利用に供する施設等を整備した場合は、固定資産税の課税標準額が3年間、2分の1に軽減されるので、自己資金を使うよりも節税できました。



林業・木材産業改善資金活用事例 5

チップストックヤードの整備

■活用の経緯

これまで、チップヤードは板塀で周囲を囲った簡易な施設で対応してきましたが、トラック積み込み時の効率が悪く、老朽化も目立ってきたため、作業効率を考えた恒久的な施設整備が必要と考えていたところ、振興局から改善資金を紹介してもらい活用することにしました。

■改善資金活用の効果等

施設整備により、チップの保管能力及びチップ積込作業の効率が格段に向上し、経営の改善が図られました。また、無利子融資に加え、設備投資減税による30%特別償却の適用対象にもなり、整備費用を軽減することができました。



林業・木材産業改善資金活用事例

特用林産加工施設

■活用の経緯

新鮮でおいしいキノコを消費者の皆様を提供するため、これまでも栽培技術や衛生管理技術等の向上に努めてまいりましたが、既存の施設では生産量に限界があるため、お客様のニーズにお応えすべく、施設の増設計画を検討してきました。資金調達については、以前にも活用したことがあった無利子の改善資金を活用しました。

■改善資金活用の効果等

収量の増加によって、市場への安定した製品供給が可能になるとともに、ネット通販にも新たに参入し、全国のお客様に新鮮でおいしいキノコをお届けしています。

